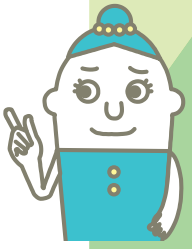
令和8年度　がん検診のご案内

「あの時 受けておけば…」を変えるのは今です。

日本人の2人に1人がんになっています。



出典：国立がんセンター　がん情報サービス　最新がん統計

初期のがんのほとんどは
自覚症状がありません

区のがん検診なら
無料 または 低額
で受けられます。

申込み・問合せ

すみだ けんしんダイヤル　電話：03−5608−1599

受付時間：月曜日〜金曜日の午前９時〜午後６時（祝日・年末年始を除く）

※聴覚障害のある方等はFAX 03−6862−6571へ

インターネットからの申込みがオススメ!



コード

墨　田　区

対象者の年齢は令和9年3月31日時点での年齢です。

	対象	検診種類	受診間隔	自己負担額	会場（※区内実施医療機関の詳細はこちら）	実施期間	申込期間	検査内容	詳細
共通	50歳以上	胃がん（内視鏡検査）	2年度に1回	1,500円	区内実施医療機関	5月11日～令和9年2月28日	4月15日～令和9年2月5日	胃カメラ	P.4
共通		胃がん（エックス線検査）	1年度に1回（※）	無料	区内実施医療機関			エックス線検査（バリウム）	P.4
共通		胃がん（エックス線検査）・（検診車）	1年度に1回（※）	無料	すみだ福祉保健センター	令和9年3月までの指定日時	4月15日～検診日程の約3週間前	エックス線検査（バリウム）	P.4
共通		大腸がん	1年度に1回	400円	区内実施医療機関			便潜血検査（検便）	P.5
共通	40歳以上	肺がん	1年度に1回	無料	区内実施医療機関	5月11日～令和9年2月28日	4月15日～令和9年2月5日	胸部エックス線・喀痰細胞診（対象者に条件有）	P.5
女性		乳がん	2年度に1回	無料	区内実施医療機関等			マンモグラフィ	P.6
女性		乳がん（検診車）	2年度に1回	無料	区内施設（全3カ所）	令和9年3月までの指定日時	4月15日～検診日程の約3週間前	マンモグラフィ	P.6
女性		子宮頸がん・乳がんセット	2年度に1回	無料	東京都予防医学協会（市ヶ谷）		4月15日～令和9年2月5日	乳:マンモグラフィ 子宮:視診・細胞診	P.7
女性	20歳以上	子宮頸がん	2年度に1回	無料	区内実施医療機関	5月11日～令和9年2月28日		視診・細胞診	P.6
男性	50~74歳	前立腺がん	1年度に1回	700円	区内実施医療機関	5月11日～10月31日	4月15日～10月9日	血液検査	P.7

（※）胃内視鏡検査受診後は2年度に1回となります。

受診方法

STEP 1

申込み方法（2通り）

インターネットにて申込み

オススメ

URL:https://logoform.jp/form/DnDq/439656
受付時間:24時間

コールセンターにて申込み

03 - 5608 - 1599
受付時間:月～金 午前9時～午後6時

STEP 2

医療機関に予約

受診票が届いたら同封の一覧から医療機関を選び、事前に予約します。



STEP 3

医療機関で受診

【持ち物】
●受診票　●マイナ保険証等

※受診日までに受診票の問診項目を記入してください。


受診票イメージ

STEP 4

結果を聞きに行く

後日、受診した医療機関に結果を聞きに行きます。

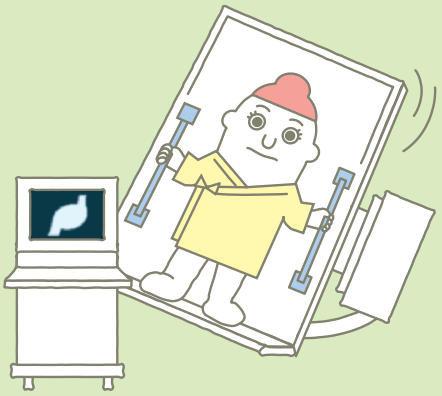
※検診の結果が出る時期等は、受診時に医療機関にお尋ねください。



P.2
P.3

胃がん検診
（胃部エックス線検査・無料）

胃がんは胃の粘膜にできるがんで、罹患数、がんによる死亡原因ともに上位に位置しています。早期に発見できれば、胃を取らずにがんを治療することができます。



対　象

40歳以上の区民の方（令和９年３月31日現在）

受診できない方…令和7年4月1日以降に区の実施する胃がん検診で胃内視鏡検査を受診した方、過去に区の胃がん検診（胃内視鏡検査）を受診し、令和7年度に区の胃がん検診（胃部エックス線検査）を受診した方、胃又は十二指腸の手術を受けたことがある方、胃又は十二指腸の病気の治療中又は経過観察中の方、妊娠中又は妊娠の可能性のある方、バリウム製剤に対し、過敏症の既往歴がある方又は飲み込みが困難な方、自力で立位を保持することや撮影台の手すりを自分でつかむことが困難な方

2通りの受診方法があります。

◆医療機関実施分

【検診期間】5月11日～令和9年2月28日（休診日を除く）
【検診会場】区内実施医療機関
【申込期間】4月15日～令和9年2月5日

【申込方法】申込期間内に電話又は電子申請にてお申し込みください。

◆検診車実施分

比較的待ち時間も少なくて済むのでオススメです。

【検診日程】月１回
6月28日（日）、7月31日（金）
※8月以降の日程は、決まり次第随時区ホームページに掲載します。

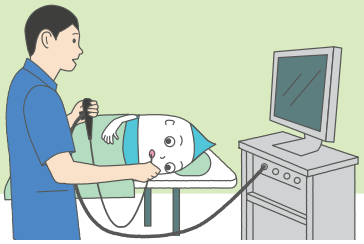
【検診会場】すみだ福祉保健センター
（向島3－36－7）

【申込期間】4月15日～
※申込みは各検診日程の約2週間前まで受け付けます。
※各日程定員に達し次第、申込みの受付を終了します。

【申込方法】申込開始日以降、
電話又は電子申請にてお申し込みください。

「胃がん検診（胃部エックス線検査）」と「胃がん検診（胃内視鏡検査）」は同時に申し込むことはできません。

胃がん検診
（胃内視鏡検査・1,500円）
※生活保護受給者等は無料



注 胃内視鏡検査に関するインフォームド・コンセントや同意書の内容に同意ができない方は受けられません。

対　象

50歳以上の区民の方（令和9年3月31日現在）

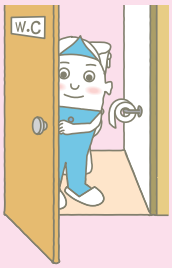
受診できない方…令和7年4月1日以降に区の実施する胃がん検診で胃内視鏡検査を受診した方、過去に区の胃がん検診（胃内視鏡検査）を受診し、令和7年度に区の胃がん検診（胃部エックス線検査）を受診した方、胃の病気で治療中又は経過観察中の方、胃全摘術後の方、咽頭・鼻腔などに疾患があり、内視鏡の挿入ができない方、妊娠中又は妊娠の可能性のある方、重篤な循環器・呼吸器疾患・心疾患のある方、その他、全身状態が悪く、医師が内視鏡検査に耐えられないと判断した方等

◆医療機関実施分

【検診期間】5月11日～令和9年2月28日
（休診日を除く）
【検診会場】区内実施医療機関
【申込期間】4月15日～令和9年2月5日
【申込方法】申込期間内に電話又は電子申請にてお申し込みください。

大腸がん検診（400円）
※生活保護受給者等は無料

大腸がんは初期の自覚症状が少ないため、気付きにくいがんです。大腸がんの早期発見には、定期検診が欠かせません。



検査方法

便潜血検査2日法（検便）

対　象　下記1 2参照

受診できない方…大腸の手術を受け、現在も入院・通院中の方、大腸の病気の治療中又は経過観察中の方

肺がん検診（無料）

肺がんは男女ともに墨田区及び東京都のがん死亡数の第1位です。自覚症状がほとんどなく、発見が遅れやすいので、検診を定期的に受診することが不可欠です。

検査方法

胸部エックス線検査／喀痰（かくたん）細胞診注

注 喀痰細胞診は、50歳以上で、喫煙指数（1日のたばこの本数×喫煙年数）が600以上の方が対象になります。

対　象　下記1 2参照

受診できない方…肺の手術を受け、現在も入院・通院中の方、肺の病気の治療中又は経過観察中の方、妊娠中又は妊娠の可能性のある方

大腸・肺がん検診は対象によって受診方法が異なります。

※下記1の方は、原則、健康診査の実施期間内に健康診査と同時に受診（区への申込不要）してください。

◆1 健康診査と同時に受けていただく方

【対　象】
区内実施医療機関で健康診査を受診する40歳以上（令和9年3月31日現在）の区民のうち、次のいずれかに該当する方

①区の健康診査（特定健康診査※1、75歳以上の健康診査※2、生活習慣病予防健康診査※3）の対象となる方
②健康保険の保険者が実施する特定健康診査を区内実施医療機関で受診する方

【検診期間】①各健康診査の実施期間
②5月11日～令和9年3月31日

【検診会場】大腸がん・肺がん検診を実施する区内健康診査実施医療機関

【受診方法】各がん検診実施医療機関で健康診査を受診する際に、大腸がん・肺がん検診の受診をお申し出ください。区への申込みは不要です。

健康診査のお知らせ

※健康診査のお知らせを以下のとおり送付します。大腸がん・肺がん検診は、健康診査のお知らせが届き次第、健康診査と同時に受診してください。
※肺がん検診を健康診査と同時に受診する場合は、健康診査の胸部エックス線検査は受診できません。

①区の健康診査の対象となる方

区の健康診査の対象者には、以下の時期（予定）に健康診査のお知らせ（受診票等）を一斉送付します。

健　診　名		送付時期
特定健康診査		5月上旬
75歳以上の健康診査		6月末
生活習慣病予防健康診査	40～74歳	5月上旬
	75歳以上	6月末

②健康保険の保険者が実施する特定健康診査を区内実施医療機関で受診する方（社会保険に加入している方）

ご加入の健康保険の加入者から健康診査のお知らせが送付されます。送付時期は保険者へ直接お問い合わせください。

※1）40歳以上の墨田区国民健康保険の加入者　※2）後期高齢者医療制度の加入者　※3）40歳以上の生活保護受給者など

◆2 上記1以外の方（単独で受けていただく方）

【対　象】
健康診査と同時に各がん検診を受診することができない40歳以上の区民の方（令和9年3月31日現在）

【検診期間】5月11日～令和9年2月28日
（休診日を除く）

【検診会場】区内実施医療機関

【申込期間】4月15日～令和9年2月5日

【申込方法】電話又は電子申請にてお申し込みください。

「乳がん検診」・「子宮頸がん検診」と、「子宮頸がん・乳がんセット検診」（7ページ）は同時に申し込むことはできません。

乳がん検診（無料）

乳がんは40歳～50歳代の女性のがん死亡原因のトップです。早期の乳がんは自覚症状がないことが多いため、検診を定期的に受診することが重要です。

検査方法

マンモグラフィ

乳がんの検査には、様々な方法がありますが、マンモグラフィ（エックス線撮影）検診が推奨されています。

対象

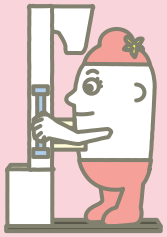
40歳以上の女性の区民の方（令和9年3月31日現在）

受診できない方…令和7年4月1日以降に区の実施する乳がん検診を受診した方、乳房の病気の治療中又は経過観察中の方、妊娠中又は妊娠の可能性のある方、授乳中又は卒乳後6か月を経過していない方、ペースメーカー等の医療器具を装着している方、豊胸手術を受けた方

2通りの受診方法があります。

◆医療機関実施分

【検診期間】5月11日～令和9年2月28日（休診日を除く）
【検診会場】区内実施医療機関等
【申込期間】4月15日～令和9年2月5日
【申込方法】申込期間内に電話又は電子申請にてお申し込みください。



◆検診車実施分

女性の放射線技師が担当します。

【検診会場・日程】

●シルバープラザ梅若（墨田1−4−4）	7月26日（日）、8月30日（日）、9月27日（日）、11月1日（日）、令和9年1月31日（日）、3月14日（日）
●すみだスポーツ健康センター（東墨田1−6−1）	7月14日（火）、9月17日（木）、10月26日（月）、11月13日（金）、12月14日（月）、令和9年2月26日（金）
●すみだ福祉保健センター（向島3−36−7）	7月4日（土）、8月1日（土）、9月6日（日）、10月10日（土）、11月28日（土）、令和9年2月11日（祝）

【申込期間】4月15日～　※申込みは各検診日程の約2週間前まで受け付けます。
※各会場定員に達し次第、申込みの受付を終了します。
【申込方法】申込開始日以降、電話又は電子申請にてお申し込みください。

子宮頸がん検診（無料）

子宮頸がんは近年、若い女性に急増しています。進行すると治療が難しいですが、早期に発見すれば比較的治療がしやすいので、定期的に検診を受けることが重要です。

検査方法

視診／子宮頸部の細胞診

ヘラやブラシなどで、子宮の入り口である子宮頸部の細胞を軽くこすり取って調べます。

対象

20歳以上の女性の区民の方（令和9年3月31日現在）

受診できない方…令和7年4月1日以降に区の実施する子宮頸がん検診を受診した方、子宮頸がんの治療中又は経過観察中の方（妊娠中又は出産後の方は受診できない場合がありますので、事前に実施医療機関にご確認ください。）

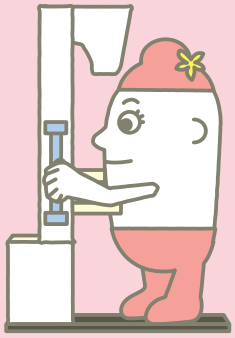
◆医療機関実施分

【検診期間】5月11日～令和9年2月28日（休診日を除く）
【検診会場】区内実施医療機関
【申込期間】4月15日～令和9年2月5日
【申込方法】申込期間内に電話又は電子申請にてお申し込みください。



子宮頸がん・乳がんセット検診
（無料）

同じ日に両方の検診が受けられるので、**オススメ**です。





対　象

40歳以上の女性の区民の方
（令和9年3月31日現在）

受診できない方…令和7年4月1日以降に区の実施する子宮頸がん検診又は乳がん検診を受診した方、子宮頸がん又は乳房の病気の治療中又は経過観察中の方、妊娠中又は妊娠の可能性のある方、授乳中又は卒乳後6か月を経過していない方、ペースメーカー等の医療器具を装着している方、豊胸手術を受けた方

【検診期間】5月～令和9年3月31日
【検診会場】東京都予防医学協会（新宿区市谷砂土原町1－2）
※市ヶ谷駅徒歩5分
【申込期間】4月15日～令和9年2月5日
【申込方法】電話又は電子申請にてお申し込みください。
※女性の医師や放射線技師をご希望の場合は、申込時にお申し出ください。
【受診方法】申込みをされた方へ受診日の1～2週間前までに受診票を送付します。指定された日時に受診票を持参の上、検診会場で受診してください。

※受診日時は東京都予防医学協会で指定して通知します。申込状況により、受診日が申込みから3か月以上先の設定になることもありますので、ご了承ください。
※体調その他やむを得ない理由により、指定日時での受診が困難な場合は、受診日時が変更できますので、**東京都予防医学協会（電話03－3269－1134）**へ事前に連絡してください。

前立腺がん検診
（700円）
※生活保護受給者等は無料

検査方法

血中PSA検査

少量の血液を採取し、PSAというたんぱく質の値を調べます。

対　象

50歳～74歳の男性の区民の方
（令和9年3月31日現在）

※昭和27年4月1日～昭和52年3月31日生まれの方

受診できない方…前立腺の手術を受け、現在も入院・通院中の方、前立腺の病気の治療中又は経過観察中の方、過去3か月以内にPSA検査を受けたことがある方
※過去の受診結果でPSA値が1.0ng/mL以下だった方は、3年に1回の受診を推奨

【検診期間】5月11日～10月31日（休診日を除く）
【検診会場】区内実施医療機関
【申込期間】4月15日～10月9日
【申込方法】電話又は電子申請にてお申し込みください。

がん検診のメリット・デメリット

がん検診の目的は、がんを早期に発見し、適切な治療を行うことで、がんによる死亡リスクを減少させることです。また、すべてのがん検診には、メリットとデメリットがあり、がん検診の検査方法についても、がん患者の診療としては有用ですが、検診で使用した場合の効果が十分に確かめられていないものもあります。がん検診のメリットとデメリットを正しく理解し、正しい知識を持ってがん検診を受診しましょう。

がん検診のメリット

①早期発見・早期治療により命を守ることができます。

がん検診の最大のメリットは、検診によりがんを早期に見つけることで命を守ることです。そのためには、命を守る効果が確かめられた種類のがん検診を受けることが大切です。

②がんの治療が容易です。

がん検診は、「症状がない健康な人」が対象のため、がんが早期の段階で見つかりやすく、そのほとんどが治ります。しかも、身体への負担が少ない治療ですみます。

③「異常なし」が確かめられ、安心感が得られます。

がん検診を受けて「異常なし」の判定となった場合、「自分はがんがない」という安心感を得ることができます。

がん検診のデメリット

①がん検診ではがんが100%見つかるわけではありません。

どんなに優れた検査でも「絶対」はあり得ません。やむを得ずがんを見逃してしまうことがあります（偽陰性）。

②結果的に不要な治療や検査を招くことがあります。

がんでないのに「がんの疑い」と判定されてしまったり（偽陽性）、健康や生命に影響しない微小ながんを見つけてしまうこと（過剰診断）により、余分な精密検査を受けることなどによる身体的・心理的な負担がかかってしまったりすることがあります。

③偶発症のリスクがあります。

内視鏡検査などにおいて、胃に穴が開くなどの事故がごくまれに発生します。

******* 早期にがんを見つけるために がん検診を継続して受けてください *******

がんはほとんどの場合、早期のうちは自覚症状がありません。
そのため、定期的にがん検診を受け、早期発見・早期治療につなげることが大切です。

もしも要精密検査といわれたら…

『要精密検査（要精検）＝がん』ではありません。

がん検診は、がんの“疑い”があるかないかを調べる検査であるため、確定診断には不十分です。「がん」であるかどうかを判定するためにも、必ず精密検査を受けましょう。「元気だから」、「症状がないから」といった理由で精密検査を受けないと、早期に見つかるはずのがんを放置してしまうことになり、せっかくがん検診を受けた意味がなくなってしまいます。精密検査を受けることで、がんの早期発見・早期治療につながり、大切な命を守ることができるのです。

©株式会社社会保険出版社
禁無断転載 593301
26C
リサイクル適性Ⓐ
この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。
グリーン購入法適合印刷物です